

パターン適用による フレームワークの内部構造の改良

新居雅行

nii@msyk.net

開発における問題点

- フレームワークの機能拡張部分の実装に関する問題点があった。
- それを解決するための実装方針を得るためにパターン適用を行った。
- パターン適用のプロセスを経て、適切なパターンを得て、実装へとつなげる必要がある。

手法・ツールの適用による解決

- 問題点を克服する内部構造をパターン選択のプロセスから得る事ができた。
- 前提条件とフォースを事前にまとめることで、パターンの適合度を検討できた。
- パターンカテゴリの選択をやり直す必要もあった。また、複数のカタログ記述を参照してパターンの適合度を検討する必要もあった。

パターン適用のプロセス

STEP1：状況の理解

STEP2：パターンの選択

1. パターンカテゴリの選択
2. 問題カテゴリの選択
3. 問題の検討
4. 利点と欠点の検討
5. バリエーションの検討

STEP3：パターンの適用

1. 適用箇所の決定
2. デザインパターンの展開
3. 周囲との調整

STEP4：パターンの評価

適用結果の比較

前提条件とフォース

前提条件1	拡張した結果もデータアクセスクラスと同じ振る舞いになる
前提条件2	既存のデータアクセスクラスを利用できるようにする
フォース1	拡張プログラムは個別に指定したい
フォース2	サブクラスによる拡張はしない方が良い
フォース3	新たなデータアクセスクラスが必要になる可能性がある

パターン適用のプロセスを利用した問題の検討

